

各会計の決算額 (単位：千円)

	歳入総額 A	歳出総額 B	差引 C=A-B	繰越すべき財源 D	実質収支 C-D
<b>一般会計</b> (市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計)	15,306,693	14,759,639	547,054	49,091	497,963
<b>特別会計</b> (保険料などの特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています)					
国民健康保険特別会計	3,039,522	3,018,062	21,460	0	21,460
後期高齢者医療特別会計	353,584	353,272	312	0	312
農業者労働災害共済特別会計	1,830	1,539	291	0	291
<b>企業会計</b> (一般の会社と同じように、独立した収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計)					
水道事業会計	収益的収支	807,126	732,612	74,514	0
	資本的収支	53,021	192,167	△ 139,146	2,014
公共下水道事業会計	収益的収支	1,301,277	1,270,843	30,434	0
	資本的収支	609,377	1,065,802	△ 456,425	75,141

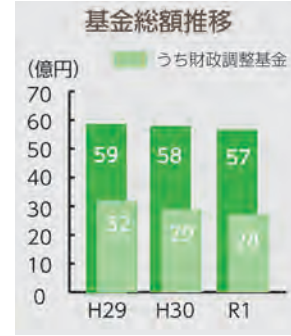
# 令和元年度 決算

問合せ  
財政課  
73-8008

一般会計の歳入の決算額は、市税や国・県支出金の減などにより、前年度と比較して微減となりました。  
歳出の決算額は、国営九頭竜川下流土地改良事業や金津小学校プール改築事業などを実施しましたが、福井しあわせ元気国体経費や石塚橋架替事業の減により、前年度と比較して微減となりました。

## 市の貯金 - 基金残高

15種類ある基金(貯金)の総額は、約57億4000万円となっています。そのうち49%を占めるのが、市の財政をやりくりするための貯金である「財政調整基金」です。令和元年度は、7800万円を取り崩しています。



## 市の借金 - 市債残高

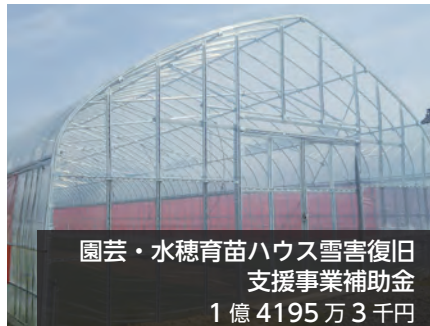
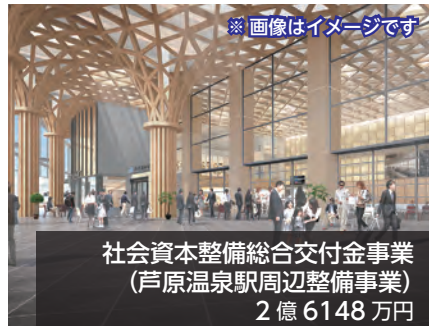
市の借金である市債の現在高は約292億5000万円です。令和元年度は、一般会計で約7000万円増加しており、その他の会計では約4億9000万円減少しています。



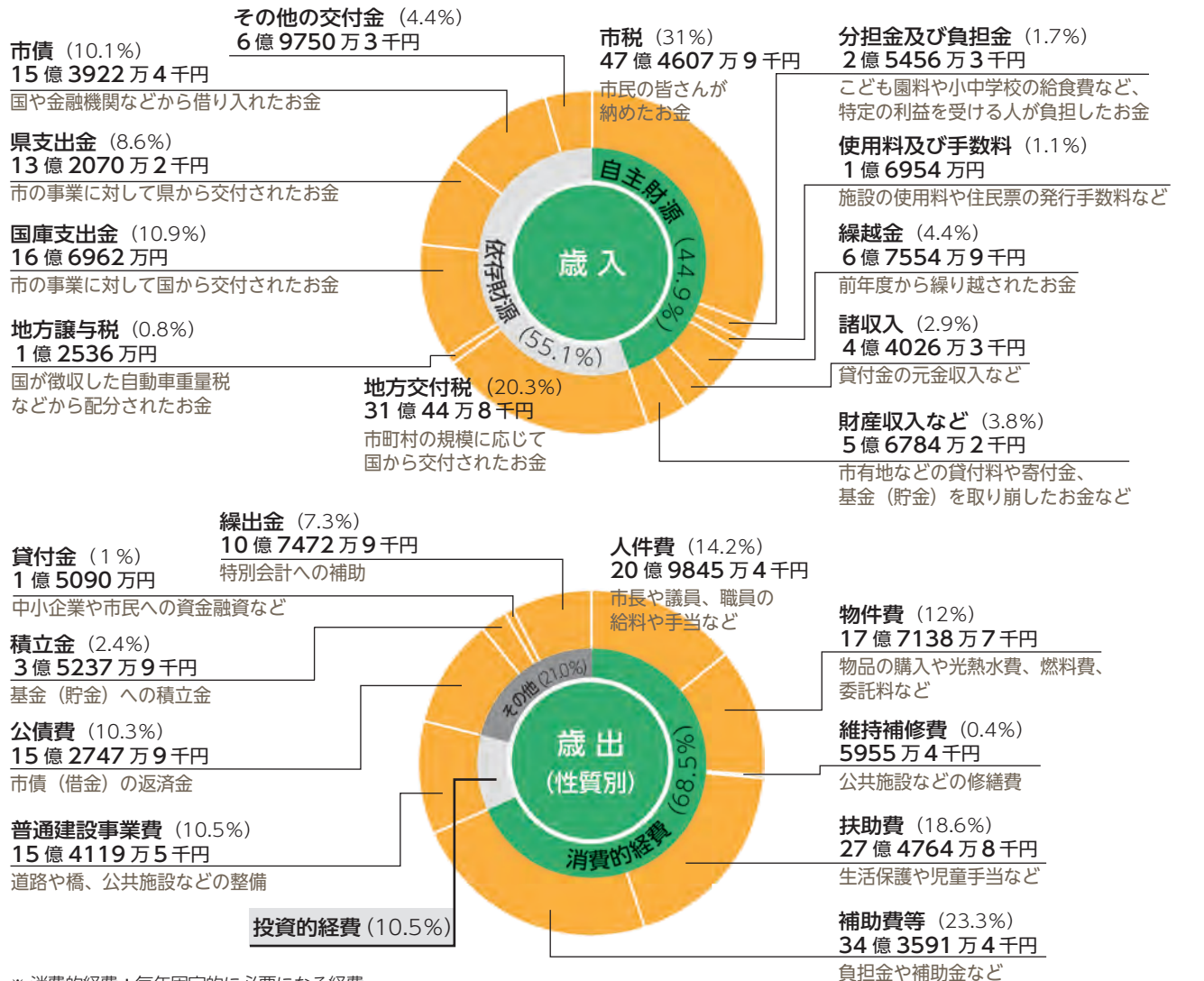
公共施設の建設や改修の際に長期的な借金をする理由は、建設時の納税者だけではなく、施設を利用する次の世代にも負担を求めることで世代間の公平性を保つためです。

一般会計歳入決算額 **153億669万3千円** (対前年度比0.7%減)

一般会計歳出決算額 **147億5963万9千円** (対前年度比0.1%減)



主な事業  
の  
決算額  
一般会計



※ 消費的経費：毎年固定的に必要な経費。  
投資的経費：道路、公園、学校などの整備に対する経費。普通建設事業費と災害復旧費からなる。